

# 登山関連ニュース 2026年4月3日

過去24時間以内に発表された登山活動に影響を及ぼす情報を、重要度の高い順に整理いたしました。今週末（4月4日～5日）に山行を計画されている方は、特に気象情報と火山・規制情報に十分ご注意ください。

## 登山関連重要ニュース一覧

重要度	項目	内容・登山活動への影響
最優先	全国的な荒天（春の嵐）	4月4日（土）から5日（日）にかけて、発達する低気圧の影響で全国的に大荒れの天気となる見込みです。西日本を中心に非常に激しい雨や暴風、高波が予想されており、稜線での行動は極めて危険です。北海道太平洋側では5日朝までに最大60cmの降雪が予想されており、冬山装備と高度な判断が求められます。
最優先	火山情報（入山規制等）	桜島（鹿児島県）では噴火警戒レベル3（入山規制）が継続中です。また、岩手山、浅間山、草津白根山、霧島山（新燃岳）など計8火山でレベル2（火口周辺規制）が発令されており、火口周辺への立ち入りが制限されています。登山計画の際は、目的の山の最新レベルを必ず確認してください。
高	山岳遭難・死亡事故	4月2日から3日にかけて、札幌市・藻岩山での遺体発見や、長野県・八ヶ岳での下山中の死亡事故が報告されています。また、閉山期間中の山域での滑落事故も多発しており、春先の不安定な雪質や体調管理への警戒が必要です。
高	登山道規制・通行止め	静岡県・栗ヶ岳の長尾滝～砂山間（土砂崩れ）、高尾山エリアの景信山～小下沢林道（崩落箇所あり）などで通行規制や注意喚起が出ています。知床横断道路では路面凍結による夜間通行止めも開始されており、アプローチの道路状況にも注意が必要です。
中	クマ出没情報	石川県・ブナオ山や山梨県・身延町などで、冬眠から覚めたクマの目撃が相次いでいます。春先のクマは餌を求めて活発に移動するため、鈴やラジオの携行、残飯の持ち帰りなど、基本的な対策を徹底してください。

## 登山者へのアドバイス

今週末は「春の嵐」による急激な気象悪化が予想されます。低気圧の発達に伴い、山の上では地上以上の暴風雨や、標高の高い場所では季節外れの大雪となる恐れがあります。「せっかくの休日だから」という無理な入山は避け、計画の中止や延期、あるいは低山への変更を強く推奨いたします。

また、この時期の山は「三寒四温」により雪解けと凍結が繰り返され、登山道の状況が非常に不安定です。アイゼンやピッケルなどの冬山装備が必要な箇所も多く残っています。火山活動が活発な山域では、自治体や気象庁の最新情報を確認し、ヘルメットの持参や避難小屋の位置把握など、万全の備えを整えてください。

安全を最優先に、無理のない登山をお楽しみください。